

2 世界最長海上橋「港珠澳大橋」で行くマカオ

昨年10月に、中国広東省珠海市と香港新界離島区ランタオ島およびマカオ花地瑪堂区を結ぶ、全長55Kmの世界最長海上橋である港珠澳大橋（こう・じゅ・おう・おおはし、Hong Kong-Zhuhai-Macao Bridge）が開通した。

名前の由来は、香港（ほんこん）珠海市（しゅかい）澳門（マカオ）である。

それぞれの市を結ぶバスが5分間隔から20分間隔で24時間運行されている。

一般車両が通行するには通行ライセンスが必要で許可車両は僅か600台である。

私には、昔から日本一や世界一の言葉に敏感に反応するクセがあり、今回の旅での目的の一つも『世界最長海上橋「港珠澳大橋」で行くマカオ』である。

香港とマカオの往復は、いつも通りにフェリーを利用する予定であった。

しかし、インターネット情報で昨年10月に港珠澳大橋が開通しバスでも行ける事を知り、フェリーからバスに変更した。

しかし、行き方の情報がなかなか手に入らずに困惑したが、インドで鍛えた行き当たりばったりで行ってみた。

これが大正解！！

フェリーを利用して香港からマカオに行くと180HKDで約1時間を要する。

バスを利用して香港からマカオに行くと65HKDで約30分である。

更に65歳以上は33HKDに割引される。2名往復で588HKD（8820円）の節約となった。

そのうえ、バスはフェリーに比べて船酔いの心配もない。

将来は。香港に入国すること無しに空港から直接バスでマカオに行けるようになるらしい。

香港側にもマカオ側にも案内表示が充実しているので、行き当たりばったりでも問題ないと思う。

マカオ市内に行く際のタクシーやローカルバスの利用についてもマカオ版A4一枚指差し会話紙を用意しておけば問題ないと思う。

海上はスモッグだらけで2階建バスなので、霧のロンドン観光を想像しながら乗るのが良い。



マカオ側の国境バスターミナル澳門口岸